PART2 西側諸国の経済発展

Chapter1　アメリカ合衆国の発展

目標　アメリカ合衆国が戦後，西側の超大国として君臨できた理由を考えよう。
アメリカ合衆国の経済発展の陰の部分を，軍事的な視点で考えよう。

1　超大国アメリカ合衆国

２度の世界大戦でともに本土が戦場にならなかったこともあり，戦後のアメリカ合衆国は西側の圧倒的な**超大国**として君臨。第二次“**パクス＝アメリカーナ**”の時代が続くが，伝統的な価値観の崩壊も始まっていた。

※「世界の警察」として平時でも大規模な軍隊を保持。また，東側の超大国ソ連と対抗する立場のため，国内の共産主義者の活動を規制する動きが強まった。

1947年　国家安全保障法

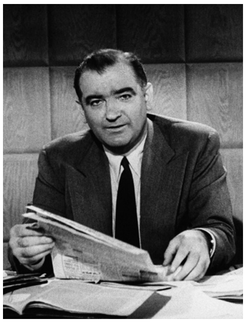
※国家安全保障会議・国家軍事機構（のち国防総省）・中央情報局〔ＣＩＡ〕などが設置される。

タフト＝ハートレー法

※従来のワグナー法とは逆に，労働組合の活動を規制。

1950年　共和党上院議員マッカーシーらによる「[　　　　　　]」開始

※左翼運動や共産主義者を攻撃し，「マッカーシズム」と呼ばれた。



マッカーシー

2　アメリカ合衆国の経済発展の光と陰

戦後のアメリカ合衆国は，第一次世界大戦後の大量生産・大量消費の動向が復活し，大衆文化・消費文化がさらに拡大した。

※ 1950～60年代に，肉体労働者「ブルーカラー」よりも，事務職「ホワイトカラー」人口のほうが多くなった。

※金１オンス＝35 ドルと定め，**基軸通貨**である〔　　　　〕と各国通貨の換算も一定とする固定為替相場制（例：１ドル＝ 360 円）を採用。世界経済を牽引した。

①**軍産複合体**

平時でも巨大な軍事費を支出し，航空機・ミサイル・電子・原子力などの分野で軍部と軍需企業の癒着が進んだ

②〔　　　　　　〕**運動**

アフリカ系住民を中心に，南部の人種差別制度の廃止を求める運動も始まった

ブルーカラー

ホワイトカラー

まとめ　アメリカ合衆国は２度の世界大戦で戦場にならなかったので，戦後の世界に君臨することができた。
アメリカ合衆国は軍部と軍需企業が癒着することで「軍産複合体」となった。

Chapter2　西欧・日本の経済復興

目標　ヨーロッパ共同体〔ＥＣ〕の中心となった２国についておさえよう。
日本に２度の特需景気を起こした戦争についておさえよう。

1　西欧の経済復興

２度の世界大戦でともに戦場となった西ヨーロッパも，1950～60年代に大量生産・大量消費社会に回帰していった。

①**地域統合**の進展

1950年　シューマン＝プラン→フランス外相の提案

1952年　ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体〔ＥＣＳＣ〕
※フランス・西ドイツ・イタリアとベネルクス３国（ベルギー・オランダ・ルクセンブルク）。

1958年　ヨーロッパ経済共同体〔ＥＥＣ〕
ヨーロッパ原子力共同体〔ＥＵＲＡＴＯＭ〕

1967年　**ヨーロッパ共同体〔ＥＣ〕**

②〔　　　　　　　　　〕→アルジェリア独立問題をめぐり国内対立が激化

1958年　**第五共和政**→首相の〔　　　　　　　　　　　　〕が大統領に

1960年　フランスによる初の原爆実験

1964年　中華人民共和国を承認→中国はこの年に初の原爆実験

1966年　北大西洋条約機構〔ＮＡＴＯ〕への軍事協力を拒否

③**西ドイツ〔ドイツ連邦共和国〕**→「経済の奇跡」と呼ばれるほどの成長を実現

1954年　パリ協定で主権回復→アデナウアー首相

1955年　ＮＡＴＯ加盟

④〔　　　　　　　　　〕→独自路線からＥＣ加盟へ

1960年　ヨーロッパ自由貿易連合〔ＥＦＴＡ〕
※ＥＥＣに対抗したゆるやかな結合。

1973年　ＥＣに加盟（＝拡大ＥＣ）
※アイルランド・デンマークとともにＥＦＴＡを離脱。

2 日本の経済復興

国土が破壊され，すべての植民地を失った日本は，アメリカ合衆国の「**核の傘**」の下で，世界史上例のないほどの奇跡的な経済復興を果たした。

※終戦時は復員・引揚げの人々があふれ，買出し・闇買いなどで飢えをしのいだ。

※アメリカ合衆国からガリオア〔占領地域行政救済資金〕・エロア〔占領地域経済復興援助資金〕の援助を受けた。

西ドイツの
買い出し列車

1946年　金融緊急措置令→預金封鎖・新円切り換え
　　　　傾斜生産方式の決定→石炭・鉄鋼・電力などが中心
1947年　復興金融金庫の設置
1948年　経済安定九原則実行指令→財政再建とインフレ収束を目指す
1949年　ドッジとシャウプが来日→安定恐慌
1950年　**特需景気**（～53年）→朝鮮戦争開戦が契機
1951年　サンフランシスコ平和条約・日米安全保障条約
1955年　〔　　　　〕**景気**（～57年）→〔　　　　　　　　　　〕スタート
　　　　保守合同により自由民主党結党→ 55年体制スタート
1956年　日ソ共同宣言・国際連合加盟
1958年　**岩戸景気**（～61年）
1960年　60年安保闘争・日米新安全保障条約
1963年　**オリンピック景気**（～64年）
1964年　夏季オリンピック東京大会
1965年　日韓基本条約
1966年　〔　　　　　　　　〕**景気**（～70年）→ベトナム戦争本格化が起こした特需
1970年　日本万国博覧会（大阪）
1972年　冬季オリンピック札幌大会
　　　　日中共同声明

まとめ
ＥＣの中心となったのはフランスと西ドイツだった。
日本の２度の特需は，朝鮮戦争とベトナム戦争がきっかけとなった。

第13講 PART2 確認問題

1 アメリカで1947年に制定された，労働組合の活動を規制する法律はどれか。

① ブレイディ法　② クレイトン法
③ ワグナー法　④ タフト＝ハートレー法

2 アメリカで「赤狩り」を開始した共和党上院議員はだれか。

① マッカーシー　② マッカーサー
③ トルーマン　④ マーシャル

3 固定為替相場制のもと，基軸通貨とされたのはどれか。

① フラン　② ドル
③ マルク　④ ポンド

4 アメリカで行われた，南部の人種差別制度の廃止を求める運動を何というか。

① 公民権運動　② ラダイト運動
③ 洋務運動　④ チャーティスト運動

5 1967年に設立されたヨーロッパ共同体の略称はどれか。

① EURATOM　② EEC
③ ECSC　④ EC

6 フランスで，1958年に大統領に就任したのはだれか。

① アデナウアー ② マッカーシー
③ シューマン ④ ド＝ゴール

7 1966年に北大西洋条約機構〔ＮＡＴＯ〕への軍事協力を拒否した国はどこか。

① イギリス ② 西ドイツ
③ フランス ④ イタリア

8 1973年にヨーロッパ自由貿易連合〔ＥＦＴＡ〕を離脱し，ヨーロッパ共同体〔EC〕に加盟した国はどこか。

① フランス ② ノルウェー
③ イギリス ④ 西ドイツ

9 日本が高度経済成長を遂げるきっかけとなった，1955年に始まった好景気はどれか。

① 神武景気 ② いざなぎ景気
③ 岩戸景気 ④ オリンピック景気

10 ベトナム戦争本格化が起こした日本での特需を何というか。

① 岩戸景気 ② 神武景気
③ 特需景気 ④ いざなぎ景気

第 13 講　PART2　確認問題　解答

1 解答：④　労働者に大きな保護を与えていたワグナー法を改正し，労働運動を制限した。

①：1994 年に施行された銃を規制する法律。
②：1914 年に制定された反トラスト法（独占禁止法）の一つ。
③：1935 年に制定された，労働者の団結権・団体交渉権を明確に認めた法律。

2 解答：①　左翼運動や共産主義者を攻撃し，「マッカーシズム」と呼ばれた。

②：GHQ の総司令官。
③：トルーマン＝ドクトリンと呼ばれる「封じ込め政策」を提唱した大統領。
④：マーシャル＝プランと呼ばれる西欧諸国の復興支援計画を推進した国務長官。

3 解答：②　固定為替相場制のもと，日本では 1 ドル＝ 360 円と定められた。

①：ユーロ導入前のフランスなどの通貨。
③：ユーロ導入前のドイツの通貨。
④：イギリスの通貨。

4 解答：①

公民権運動は，アフリカ系住民を中心に始まった。

②：産業革命期にイギリスで起こった，熟練工による機械打ちこわし運動。
③：19 世紀後半に中国で漢人官僚が進めた西欧化政策。
④：19 世紀にイギリスで盛んになった，選挙権要求などの都市労働者による運動。

5 解答：④

ヨーロッパ共同体〔ＥＣ〕はＥＣＳＣ，ＥＥＣ，ＥＵＲＡＴＯＭの３者を統合して結成。

①：1958 年に設立されたヨーロッパ原子力共同体の略称。
②：1958 年に設立されたヨーロッパ経済共同体の略称。
③：1952 年に設立されたヨーロッパ石炭鉄鋼共同体の略称。

6 解答：④

大統領に就任し，第五共和政を敷いた。

①：パリ協定で主権を回復した時の西ドイツ〔ドイツ連邦共和国〕の首相。
②：「赤狩り」を開始したアメリカの上院議員。
③：シューマン＝プランを提唱したフランスの外相。

7 解答：③

フランス大統領ド＝ゴールは，アメリカ主導に反発し，NATO 軍事機構を脱退した。

①：1949 年の発足当初に NATO に加盟し，脱退していない。
②：1955 年に NATO に加盟した。
④：1949 年の発足当初に NATO に加盟し，脱退していない。

8 **解答：③**　イギリスはデンマークなどとともに EFTA を離脱し，EC に加盟した。

①：EFTA に加盟していない。
②：1960 年に EFTA に加盟し，離脱していない。
④：EFTA に加盟していない。

9 **解答：①**　神武景気では，三種の神器（冷蔵庫・洗濯機・白黒テレビ）などの耐久消費財ブームが成長の原動力となった。

②：1966 年に始まった。
③：1958 年に始まった。
④：1963 年に始まった。

10 **解答：④**　いざなぎ景気は，1966 年に始まった 57 カ月にわたる大型景気である。

①：「投資が投資を呼ぶ」波及効果が生じ，好景気となった。
②：耐久消費財ブームが成長の原動力となった。
③：朝鮮戦争開戦が契機となった。